

コト体験で広がる笑顔の連鎖

Jar of happiness



「いまだけ、ここだけ、あなただけ」の
新たな価値を提供する
デジタルコトづくり事例

当社が目指すコトづくり。

近年、私たちの身の回りにはたくさんのものがあふれ、モノに対する価値が薄れてきています。そのため、人々の消費行動は、モノの所有による「モノ消費」から、商品やサービスの購入で得られる体験そのものに価値を見出す「コト消費」を求めるようになってきました。当社は、そのニーズの本質が商品やサービスを受け取る人の想いや気持ちにあると考え、それらを手に入れた人がどのような喜びの瞬間をむかえるのかをイメージし、その想いをカタチにすることで豊かな経験や時間を提供する「コトづくり」をお客様とともに築き上げていくことを目指しています。



ご興味をお持ちいただけましたら、当社へお気軽にお問合せ下さい。

お問い合わせ

ローランド ディー.ジー. 株式会社

COTO市場開発部 TEL 03-5733-4410 E-Mail rdg-cotoinfo@rolanddg.co.jp





自分でデザインしたお弁当をオリジナルグッズに!

場所 そごう千葉店 実施期間 2019年8月28(水)~9月2日(月) 開催者 Makers' Base

SNSで話題の、自分でデザインしたお弁当をトートバッグなどのグッズにプリントするユニークなサービスを会員制シェア工房 Makers' Baseが展開しています。このサービスに、綿製品に直接プリントできる当社のガーメントプリンター「BT-12」が活用されています。

人気のお弁当グッズを その場で作れるイベント

シェア工房 Makers' Baseが、イベント会場や店頭、メールで注文できるカスタマイズサービスを開始。約100種類のおかずから好きなものだけを組み合わせたお弁当デザインを、トートバッグやTシャツ、サコッシュ(コンパクトで薄手のショルダーバッグ)に仕上げます。会場となった、そごう千葉店・本館婦人服売り場の一角には、本物のお弁当屋さんのようなイベントブースが登場しました。

ブースでグッズができるまで



お客様はおかずを組み合わせたり、あらかじめ用意されたお弁当のデザインを選んで、簡単なレイアウトをおかずメモに記入します。



当社のソフトウェア「cotodesign (コトデザイン)」でお弁当のデザインを作成。その場でスタッフがガーメントプリンターで商品にプリント。



プリントした商品はお客様にお渡しし、すぐに持ち帰ることができます。



ユニークなお弁当デザインの グッズを紹介します!

イベントでは、オーソドックスなお弁当から个性的なお弁当まで、さまざまなデザインのグッズが作られました。その一部を紹介します。



イベント限定デザイン、落花生などの千葉名物が詰まった「ちば弁」Tシャツ(左)



イライラしている人にぴったり? 魚や牛乳たっぷりの「カルシウム弁当」サコッシュ



完成したバッグにUVプリンターでプリントしたおかずチャームをプラスして個性豊かに

楽しいサービスが 生まれたきっかけは?

Makers' Base代表の松田純平さんに、サービスが生まれた背景について伺いました。

——自分でデザインしたお弁当をグッズにする、独自の試みを始めたきっかけを教えてください。

今年の春に、ローランド ディー.ジー.さんから「新製品のガーメントプリンター

とデザインソフトウェアを使って何か面白いものを作れないか」と相談を受けたことがきっかけです。そこで、「その場でデザインしてプリントできる」製品の長を活かし、自分でお弁当をデザインしてグッズを作るアイデアを思い付きました。5月に東京ビッグサイトで開催されたイベント「デザインフェスタ」で、お弁当グッズのトライアルを実施したところ大好評。手応えを感じ、メールでオーダーできるサービスを正式に始めました。常設のリアル店舗でも実施したいと考えていた時、そごう千葉店のイベントのお話をいただきました。心に残る購買体験を提供したいと思い、お弁当屋さんそっくりのイベントブースを設けました。

——サービスでこだわったポイントは? 好きなお弁当のおかずを選んでいうちに、気が付くと面白いデザインができていることがポイントです。「自分でデザインする」ことはまだ一般のお客様にとってハードルが高く、「難しそう」「センスがいるかも」と思われがちです。でも、食べ物を選ぶのはなじみがあります。デザインの「難しさ」を取り除き、「面白さ」だけを体験できるようにしました。おかずは色々な種類を楽しめるように、社内のデザイナーとアイデアを出し合いました。

——お客様の反応はいかがでしたか? 想像以上の反響があり、メールでも多くの注文をいただいています。8月にドイツでイベントを実施したところ、現地の方が喜んでグッズを作ってくれました。

海外でも楽しんでもらえるコンテンツだと感じます。

——ガーメントプリンターをお使いになった感想を教えてください。

以前から工房でUVプリンターなどのローランド ディー.ジー.製品を活用しています。最近、ガーメントプリンター「BT-12」も導入しました。布製品へ手軽にプリントでき、導入コストや印刷時間



もちょうど良いと感じます。このようなイベントや、カスタマイズサービスに最適な製品だと思います。

——最後に、今後の展開について教えてください。

工房で開催するワークショップには、多くのお客様が自分だけのものを作りたいと足を運んでくれます。一方、メールなどで注文できるカスタマイズサービスは、来店が難しい遠方の方や自分で作る自信のない方でもオリジナルグッズを楽しめる良い手段になりそうです。ガーメントプリンターも活用しながら、この分野をもっと伸ばしていきたいと思っています。

——ありがとうございました。

これからも思わず試してみたいくなる、ユニークなサービスが広がっていくのを楽しみにしててください!

